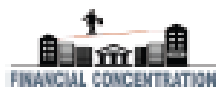


2013年4月

テーマ型投資についてのアップデート



金融への集中



スマート(高性能)



中国の影響



債務という負担



健康への需要



グローバルな再編



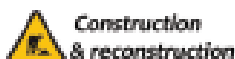
政府の干渉



ネットの影響



過熱リスク



建設と再建



地球環境問題



セキュリティ



安全な場所(避難先)



人口動態の変化



エネルギー経済

ニュートンでは、引続き今後の投資収益は「Great Moderation 大平穩期」に得られた収益を大幅に下回ると予想しており、資産価格のボラティリティが高まった中で投資目標の達成を目指す投資家は、険しい前途に直面していると考えています。こうした環境では、金融市場における投資機会とリスクについて大局観を維持することが極めて重要です。

そうした大局観を獲得するために、ニュートンではグローバルな投資「テーマ」という動的な枠組みを用いています。本稿では、現在の「テーマ」についてアップデートを行うとともに、それらが遂げた進化について説明します。

ニュートンのグローバルな「テーマ」は、我々を取り巻く世界に変化をもたらしている長期的な情勢の推移を捉えるために進化していきます。これらの「テーマ」は、今後の投資機会とリスクを決定づけるとされるトレンドの発見と解釈、更にはそれらのトレンドから恩恵を受ける可能性の高い投資先候補に必要な特徴の見極めを助けてくれます。ニュートンが運用する全ての投資戦略において、「テーマ」はアクティブで柔軟なアプローチを促してくれます。

投資家として、我々は投資の見通しを左右しうる経済的、金融的、地政学的、社会的要因の検討に多大な時間を費やすことで、将来の予測を試みることもできるでしょう。しかし、将来の見通しはあまりに複雑で、こうした要因が具体的にどう互いに作用するのかを、正確に予測することは不可能です。

それよりも、我々は起こりうる多様な結果に対して備え、様々な経済状況や金融市場に長期的に耐えうる投資対象や資産へ注目することを目指します。こうした観点からニュートンにとって「テーマ」は非常に重要だと考えています。「テーマ」は、長期的な投資のアイデアに継続的に着目し、我々に大局観を与え、いわゆるノイズ(雑音)を遮断して現在市場に存在する短期的な歪みに惑わされずに将来に焦点を当てることを助けてくれます。

テーマのハブ

ニュートンでは、世の中で変化が生じている主な領域を捉えた4つの主要「ハブ」別に投資「テーマ」を整理しています。

- ① 債務、危機及び政策
- ② 革新
- ③ エネルギー、環境及びインフラストラクチャー
- ④ 地政学及び人口動態

一つ目のハブ(①債務、危機及び政策)では、「債務という負担」、「過熱リスク」及び「政府の干渉」を含め多くのテーマの分析を続けています。

中でも「Debt Burden 債務という負担」というテーマは「Deleverage 債務の解消」から置き換わったテーマですが、先進国における債務の影響を予測する上で引き続きニュートンにとって重要なテーマです。



債務という負担

クレジット・バブルによって、将来見通しに多大なマイナス影響を与えるほどの債務が多く残る一方、政策当局は債務削減の重要性について触れたがらないことから、相対的に変動性が高く低成長の経済状況が長引くと考えています。公的部門、民間部門で積み上がった債務が膨大であることから、債務解消が進む時期と手段(返済、デフォルト、再構築、放棄等)、そしてそのマイナスの影響を相殺するための政策の効果が、投資見通しの全ての側面において非常に重要となっています。



Fire risks
過熱リスク

「Fire Risks 過熱リスク」というテーマは、金融危機後の状況に対処するための一時的な手段であった金融政策が恒常化する中で浮上した、世界経済や金融市場におけるインフレの可能性に対するニュートンの懸念を反映しています。「政府の干渉」は、益々拡大する政策当局の経済への介入を考察しています。



State intervention
政府の干渉

この他にも、ニュートンでは投資に魅力的な領域を発見し続けております。新しい成長の源泉を生み出している医療やIT分野の革新的企業はその一例です。エネルギーセクターでは、高い石油価格や伝統的エネルギー源の枯渇により生じた困難が、生産性、技術、インフラ及び省エネルギーの分野で必要とされる改善をもたらしています。「Energy Economy エネルギー経済」のテーマはこうした点を捉えており、今後も多数の業種において様々な投資機会を生み出し続けるでしょう。一方、「Earth matters 地球環境問題」のテーマは、農業、エネルギー及び公益事業セクターにおけるニュートンの思考を導いています。



ENERGY ECONOMY
エネルギー経済



Earth matters
地球環境問題

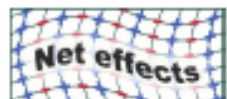
「テーマ」が示唆するこうした投資機会や将来的な脅威を見出すために、上記4つのハブ毎にニュートンのグローバル・アナリスト(株式アナリスト)、クレジット・アナリスト及び運用担当者が結集しています。各ハブでの議論・分析からもたらされるアウトプットは、成功する銘柄を探すための背景情報を運用チーム全体に広く与えてくれます。

新たなテーマ: 「Havens 安全な場所(避難先)」



Havens
安全な場所(避難先)

経済活動をコントロールする当局の能力が弱まる中で、経済成長率、インフレ、商品価格及び金融市場は、より振れ幅が増す可能性が高いと考えています。厳しい環境により、「強者」と「弱者」の格差が拡大する可能性も高くなるでしょう。経済成長率が低下した環境によって、一部のビジネスモデルは弱体化し、特定の特徴を有する一部の銘柄の魅力がより高くなるため、パッシブ投資よりアクティブ投資に有利となるはずですが、この「Havens 安全な場所(避難先)」というテーマは、明確な投資機会を、景気に左右されない安定的な業種の企業の中だけでなく、革新の結果として、或いは弱い企業が苦戦する中での競争の緩和により魅力的な成長見通しを有している企業の中からも特定します。ボラティリティの高い歪んだ資本市場では、投資家は「安定」にプレミアムを払うかもしれません。しかし、「バリュートラップ」、即ち安全な逃避先の特徴を備えたものに資金を投じ過ぎること、そしてこれまで避難先となってきた領域が今後もそうあり続けると思い込むことに金融市場参加者は気をつけなければなりません。



Net effects
ネット効果

既存テーマの進化: 「Net effects ネット効果」

過去10年間の間に、ニュートンのテーマであった「ネットワーク世界」において予見されていたことは、「繋がった」存在の飛躍的な増加を経て現実のものとなりました。著しい技術力の向上がかつてない量のデータの創造、収集及び分析を可能にしています。これは、ライフスタイルや伝統的なビジネスの変革にも繋がっています。革新的な企業は、この「繋がり」と膨大なデータを活用することで自社の事業慣行を適合させ、持続可能な競争的優位を創造し、様々な業種において敏捷性に劣る既存企業に挑んでいます。従って、これは新たな投資機会を生み出すだけではありません。起きている変化のペースと規模は、多くの業種における既存の大企業にとっての大きなリスクを生み出すかもしれません。

引退したテーマ：「Large Cap Laggards 大型株の劣後」

金融市場で散発的にリスクに対するミスプライシングが生じる中、「大型株の劣後」のテーマは、一般に強固なバランスシートを備え、相対的に最終需要が安定している大手企業の中に魅力的な投資先候補を見出していました。株価が出遅れていた大手企業の多くが優れたパフォーマンスを上げたことにより、以前あった割安さが失われました。また、現在の出遅れた企業の中には金融銘柄や景気敏感株が含まれており、これらはニュートンの見るところ魅力度が劣ることから、このテーマは廃止しました。

結論

大きな変化が世界中で生じている現在、金融市場におけるボラティリティの高まりは、マーケットの「雑音」を相当伴う可能性が高いでしょう。そのような雑音は、投資目標の達成を目指す中で投資家が直面するリスクを増幅させることがあります。しかし、的確に理解すれば、変化は大きな投資機会に繋がるとニュートンでは信じています。

リスクと投資機会の均衡を目指す上で、大局観を維持し続けることは決定的に重要なことです。進化し続けるテーマの枠組みに基づくニュートンの投資アプローチは、そのような大局観を提供し、変化の激しい複雑な世界を理解することを可能にしていると我々は確信しています。

This is a financial promotion and is not intended as investment advice. Past performance is not a guide to future performance. The value of investments, and income from them, is not guaranteed and can fall as well as rise due to stock market and currency movements. When you sell your investment, you may get back less than you originally invested.

Important information

This document is for professional investors only.

The opinions expressed in this presentation are those of Newton and should not be construed as investment advice. The information contained within this document should not be construed as a recommendation to buy or sell a security. It should not be assumed that a security is, or will be, profitable. There is no guarantee that a security will remain in a portfolio, and portfolio holdings are subject to change at any time.

In the UK, this document is issued by:

Newton Investment Management Limited

The Bank of New York Mellon Centre
160 Queen Victoria Street
London
EC4V 4LA

Registered in England No. 1371973 Tel: 020 7163 9000

本情報提供資料は、BNY メロン・グループ（BNY メロンを最終親会社とするグループの総称です）の資産運用会社が提供する情報について、BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が審査の上、掲載したものです。当資料は情報の提供を目的としたもので、勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、作成時点での見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社
BNY Mellon Asset Management Japan Limited

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 406 号
〔加入協会〕 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会